

平成26年度 佐久市まちづくり活動支援金事業 交付決定事業一覧

《佐久っと支援金》

(単位：千円)

新規・継続	事業名 (団体名)	事業概要	支援対象 事業費	支援 要望額
新規	元気な高齢者が集う、空き店舗活用事業 (うすだ美図)	域内の人口が減少し超高齢化が今後さらに進むと予想される中、元気なお年寄りが気軽に集い、健康を維持し寝たきりにならない為の適度な運動の推進、高齢者介護、老々介護の現場の悩みと不安を共有する場、在宅介護の負担軽減、介護介助器具の現状と使い方の情報が必要である。 商店街の空き店舗を活用し、民間事業者や佐久病院と連携したイベントを行い、介護の現場の課題を共有・相談などコミュニケーションをしながら、介護・介助器具の現状と最新機器の正しい使用方法を知って頂く機会と実体験の空間を作ることで、当事者の方々の不安解消と安心した介護の提供につなげる。	1,415	177
新規	障がい者就労支援施設生産品ショップ 「まんまるショップ」開店運営 (でしまる組)	佐久地域における障がい者就労支援施設や作業所では、加工食品や日用品、工芸品等を通所者によって生産しているが、販売会や特定の場所で販売されるのみで、広く販売の機会を得ているとは言いがたい。 これらの生産品の販路や、恒常的に販売できる販売所のほか、商品発送の拠点や生産品を「まんまるショップ」ブランド商品として加工するための作業場所を確保し、作業所の運営を間接的に支援することで、生産者のモチベーションアップとクオリティ維持向上に貢献し、生産者の自立を支援する。	1,930	940
新規	語りのおもてなし (佐久昔ばなし大学再話研究会)	近年、メディアやインターネットの普及で、耳から聴く文芸が失われつつある。昔話は、口伝えの文学であり、子どもたちはお話を耳で聴いて場面を思い浮かべ、ファンタジーの世界に入り込み、様々な経験をする。映像が伴わないので、主人公や物語を頭の中につくりあげていく楽しさがある。 佐久にも語り継がれてきた昔話がたくさんあるので、それらを再話し、伝承の昔話を学校、保育園、幼稚園、各家庭でもできるように、昔話の再話集を寄贈することで、多くの子どもたちに身近にいる大人が声に出して読み聞かせを行える環境を整え、佐久地域に口承文芸を伝承し、伝承文学の意味と役割を伝える。	2,741	333
新規	コミュニティーの拠点づくり事業 (中込商店会協同組合)	商店街が、まちづくりなど各種事業を計画するうえで地域住民のニーズを把握することがますます重要になってきている。商店街が地域社会の中心として人や情報の交流の場となるべきであるが、それには住民の参画が不可欠で、地域住民と商店街が協働で安全安心で活力あるまちづくりを推進する必要がある。 中込駅前の空き店舗を賃借し、店主や高校生が講師となる「まちゼミ」、AC長野パルセイロ応援イベント、咲織り・手織り教室、刃物研ぎ、ギャラリィ、会議の場として活用するほか、平日夕方からは自習室として学生に開放することで、コミュニティーの拠点とする。	881	420
新規	なごみ横丁で交流人口の創出、佐久のご当地グルメ・地場産品の振興事業 (佐久商工会議所青年部)	平成27年度の北陸新幹線延伸に伴い、佐久平駅の停車本数の減少や乗降者数の増加が課題となっている。 また、佐久にはポテンシャルの高い日本を代表する地場産品やご当地グルメがあるにも関わらず、広く浸透していない現状がある。 これらの課題を踏まえ、佐久平駅前に昭和のよき時代を思わせる屋台村「なごみ横丁」を設置し、佐久市に関連するメニューを提供することで佐久平駅前の魅力形成、佐久ならではの地場産品の活用・振興、「チャレンジショップ」としての活用、佐久のご当地グルメの振興につなげる。	2,170	935
新規	『親子で遊ぼう・学ぼう 自然体験の学び舎 智慧の和』 (佐久スカイフォレストクラブ)	現在は「親子と子供の時間の思い出の共有」の少なさや、ゲームやTV・パソコン・携帯電話などの電子メディアなどへの依存などによる「感情や表情の乏しい子供」の問題が目立っている。新しい文化と昔ながらの語り継がれた文化の融合を目指し、世代間の交流を促進し、本当の意味での『(心の)ゆとりある社会』へ繋がれば良いと考える。 親子での自然体験学習を通じて、自然の恩恵を受け、その中で生かされていることを子供たちに実感してもらい、自然保護の大切さを肌で感じてもらうとともに、親子で学ぶことによって、親も子供に智慧を教えながら自分も気づくことができたり、祖父母世代の方々と交流により3世代の智慧の継承につなげる。	1,424	462
	合計		10,561	3,267

《駒の里過疎対策プロジェクト事業支援金》

新規	地域文化育成普及事業 (多津衛民芸館運営委員会)	日常使う陶磁器や木工品・布などの中に美を見出し、人々の暮らしの豊かさを求めた民芸運動は、信州でも大きな広がりを見せたが、佐久市出身の教師小林多津衛はその運動の中心的な一人であった。このたび、小林多津衛が佐久の先人として顕彰されたのを機に、改めて多津衛のめざしたものが佐久地域に広げたい。 佐久地区で活躍する工芸家や音楽家を広く紹介する機会を作り部佐久地域の文化向上に寄与し、工芸を学びたい人にその機会を提供する。また、地域の暮らしや職人の研究、佐久地域での民藝運動などに関する文を載せた冊子を発行し地域文化の大切さを普及するほか、地域づくりに関する講演会を開催し、新たな展望を考える機会を提供する。この事業を発展させ、工芸家音楽家のつながりを深め、連携組織を作る。	1,316	493
	合計		1,316	493